



《経営管理》 病床利用率

<項目解説>

病院のベッドの利用状況を示す指標であります。病院収益に最も影響を与えるため、ベッドコントロールを行う医師と看護師による情報共有と救急・紹介・新入院患者を断らない体制の構築が重要であり、それらがどの程度効率的に活用されているのかを知る必要があります。病院の経営管理状態を示す指標の1つになります。

<当院の実績>

【平成24年度】	73.8%	(一般病床 69.0%、精神病床 87.9%)
【平成25年度】	77.9%	(一般病床 76.7%、精神病床 81.4%)
【平成26年度】	80.3%	(一般病床 80.2%、精神病床 80.5%)

<当院の自己点検評価>

一般病棟においては、平成24年度で70%を下回っていたものの、医師体制の充足に伴い平成26年度で80%を上回る結果となっております。一方で精神病棟においては、平成24年度から減少傾向にあります。診療機能・体制の見直しについて検討致します。

<定義>

病床利用率

<算式>

分子：年間入院患者数

分母：許可病床年間延数（許可病床数×365日）